

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	がん集積物質葉酸クラスター型キャリアによるがん治療戦略の構築
代表機関名	国立大学法人熊本大学
研究開発代表者名	本山 敬一
全研究開発期間	平成 29 年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000065856.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている。

【評価コメント】

本課題は、葉酸受容体が発現するがん細胞に特異的に集まる FA7- β -CyD の特性を生かし、抗がん剤の集積性を向上させることを解明し、FA7- β -CyD の DDS としての可能性を示したことは評価できる。さらに、ドキシソルビシンが惹起する重篤な心臓毒性を軽減させる興味深い成果も得ている。

今後は、適応できるがん種や抗がん剤等の検討をさらに進め、がん細胞選択性のある DDS 技術の構築を目指すとともに、これまで進めてきた企業との連携、技術導出をさらに積極的に加速して頂きたい。

以上